

報告日 令和7年12月10日

報告回次 3日目

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	門真市			代表者名	宮本 一孝
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	企画財政部ICT推進課	連絡先電話番号	06-6902-5793
担当者役職	課長補佐	担当者氏名	大中 伸彦	連絡先E-mail	
住所	571-8585 大阪府門真市中町1番1号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	DX推進事業、庁内ネットワーク環境整備事業		
概要	令和4年度に策定した「門真市DX推進計画」を改定し、バージョンアップしてより一層DXを推進するとともに、特にDX人材育成にも力を入れたいと考えている。これら一連の計画・方針策定について指導・助言をいただきたい。また、計画改定を踏まえ、DX推進リーダーに向け研修を実施していただきたい。加えて、国が進める自治体ネットワーク分離方式（いわゆる三層分離）の見直しを踏まえ、今後どのように庁内ネットワーク環境を整備すべきか技術的な助言をいただきたい。				
支援を求める分野	人材（DXに関する知識習得・研修・育成） 計画策定支援 ネットワークインフラ（Wi-Fi/LPWA/光ネットワーク）				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1.

対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	572	令和7年12月8日	支援・助言	オンライン
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年12月11日	支援・助言(オンライン)	10時00分	12時00分	
				活動時間（分）	120

2-2.

派遣場所	会場名	オンライン	最寄駅	オンライン
	所在地	オンライン	最寄駅からの交通手段	オンライン

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	高橋 邦夫
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	庁内ネットワーク環境の整備に関して、自治体ネットワークモデルの在り方やセキュリティガイドラインの将来的な位置付けなど、国の検討状況を踏まえた動向を紹介いただき、今後の対応方針を整理する上で有益な知見を得た。さらに、端末調達については、コスト削減や事務負担の効率化を図るために他自治体との共同調達が有効であるとの具体的な提案を受け、今後の検討に資する示唆を得られた。また、第4日目及び第5日目支援で予定しているDX推進リーダー向けの研修について、研修内容や研修内容や当日の流れを詳細に調整できた。
アドバイザーへの要望事項	第1日目及び2日目支援で助言頂いた門真市DX推進計画の改定案を踏まえ、第4日目及び第5日目にDX推進リーダーに向けて、今後のフロントヤード改革を見据えた研修を実施いただきたい。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者

属性	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	6人
	自治体職員	住民	企業・団体
人数	6		その他(学生など)

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	自治体情報セキュリティポリシーのガイドライン改定によるマイナンバー対応端末の仮想化や無線接続化、自治体ネットワークモデルの移行、国におけるゼロトラストの考え方を取り入れた新しいネットワーク構想の検討等を背景に、本市における庁内ネットワーク環境を投資を最小限に抑えながら、スムーズな移行を実現していく必要がある。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	国の最新の検討状況等を踏まえた助言をいただき、職員の利便性と高度なセキュリティを維持した将来的なネットワーク環境の構築を検討し、今後の本市の端末調達方針等を見定めていきたい。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	庁内ネットワーク環境の整理に関し、国の動向を踏まえた助言をいただいた。ゼロトラストは必須だが境界分離との併用が重要であるということ、LGWAN-ASPを多数導入している自治体は無理にβモデルへ移行する必要がないこと、α'モデルの検討が有効であることが示された。さらに、セキュリティガイドラインは今後強制力を持つ内容へ変化し、監査や研修の義務化が進む可能性が高いとの指摘を受けた。端末調達についても、クラウド活用による自前調達の縮減や契約の集約化・共同調達によるコスト削減の視点を得た。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	自治体ネットワークモデルへの移行について、国の動向を踏まえた慎重な検討の必要性を整理できた。本市の端末調達方針についても、可能な限り自前調達を避けてクラウドサービスを活用し負担を軽減すること、さらに複数に分かれていた更新契約を集約し共同調達を行うことでスケールメリットを活かしコスト抑制に努めるべきとの具体的な方向性を得られた。これらの助言は、課題の改善と今後の方針決定に大きく寄与するものである。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	端末調達を含む今後のネットワーク環境の構築は、長期的な検討が必要であるため、今回いただいた助言を踏まえ、引き続き検討を進めていく。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
4－3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
4－4. 事業の最終的な目指す姿	費用を抑えつつ、職員が安心して業務を遂行できる利便性と、高度なセキュリティが確保されたネットワーク環境が実現され、安定的かつ効率的に運用されていること。	

5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

[https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good practices/past\\_year\\_all houkoku/](https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good practices/past_year_all houkoku/)

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。

